



オペレーションセンターを使用した複数の Prime Infrastructure インスタンスのモニタ

- [複数の Cisco Prime Infrastructure インスタンスのモニタ方法 \(1 ページ\)](#)
- [オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理 \(2 ページ\)](#)

複数の Cisco Prime Infrastructure インスタンスのモニタ方法

ネットワークを管理するために複数の Cisco Prime Infrastructure サーバインスタンスを使用する必要がある状況が3つあります。

- ネットワーク内のデバイスを論理グループに分類し、別の Cisco Prime Infrastructure インスタンスにそれぞれのグループを管理させる場合。たとえば、1つのインスタンスでネットワーク内のすべての有線デバイスを管理し、別のインスタンスですべてのワイヤレスデバイスを管理することができます。
- ネットワークを管理するには実行している1つの Cisco Prime Infrastructure インスタンスで十分だが、1つ以上のインスタンスを追加すると、複数のインスタンス間でCPUとメモリの負荷が分散されることで、Cisco Prime Infrastructure のパフォーマンスが向上する場合。
- ネットワークに世界中に配置されたサイトがあり、データを個別に保持するために異なる Cisco Prime Infrastructure インスタンスにそれぞれのサイトを管理させたい場合。

ネットワークで複数の Cisco Prime Infrastructure インスタンスが実行されている場合は、オペレーションセンターからそれらのインスタンスをモニタできます。この章では、オペレーションセンターを使用する場合の標準的なワークフローについて説明します。このワークフローは、次の作業からなります。

- [オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理](#)

- オペレーションセンターを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバを含む展開でのレポートの実行

詳細については、次の関連項目を参照してください。

関連トピック

[オペレーションセンターを使用した複数の Prime Infrastructure サーバを含む展開でのレポートの実行](#)

[オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理 \(2 ページ\)](#)

[オペレーションセンターに関するよくある質問](#)

オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理

オペレーションセンターで使用可能なさまざまなダッシュボードを表示した後、ネットワークの状況をより詳しく確認することができます。特に、以下の項目をモニタできます。

- このネットワークに属するデバイス。
- それらのデバイスを管理する Cisco Prime Infrastructure サーバ。
- ネットワークで発生したアラーム、イベント、その他のインシデント。
- ネットワークを使用するように設定されたクライアントおよびユーザ。

次の関連項目では、これらの項目についてさらに詳しく説明します。

関連トピック

[オペレーションセンターによるすべての Cisco Prime Infrastructure サーバの管理対象デバイスの表示 \(4 ページ\)](#)

[オペレーションセンターを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバを含む展開での仮想ドメインの使用 \(5 ページ\)](#)

[オペレーションセンターとは](#)

[オペレーションセンターを使用した複数の Prime Infrastructure サーバのステータスの表示](#)

[オペレーションセンターを使用した複数の Prime Infrastructure サーバのソフトウェアアップデートの表示](#)

[オペレーションセンターによる複数の Prime Infrastructure サーバによって管理されるデバイスでのアラームの表示](#)

[オペレーションセンターによる複数の PI サーバの管理対象クライアントおよびユーザの表示](#)

オペレーションセンターを使用したデバイスの追加

Cisco Prime Infrastructure のオペレーションセンターでは、オペレーションセンターのユーザインターフェイスから1つ以上の管理対象インスタンスにデバイスを追加できます。デバイス

を手動で追加するだけでなく、[一括インポート (Bulk Import)] オプションを使用してデバイスをインポートすることもできます。

ステップ 1 [モニタ (Monitor)] > [管理対象要素 (Managed Elements)] > [ネットワークデバイス (Network Devices)] を選択します。

ステップ 2 デバイスを手動で追加するには、次の手順を実行します。

- a) [ネットワーク デバイス (Network Devices)] テーブルの上にある **+** アイコンをクリックし、[デバイスの追加 (Add Device)] を選択します。
- b) [デバイスの追加 (Add Device)] ダイアログボックスで、デバイスを追加する Prime Infrastructure サーバを選択します。
- c) 必要なフィールドに入力します。フィールドの横にある [?] をクリックすると、そのフィールドの説明が表示されます。

(注) ほとんどの Cisco NCS デバイスなどのデバイスには、Telnet/SSH 情報が必須です。

- d) (任意) デバイスを追加する前にクレデンシャルを確認するには、[クレデンシャルの確認 (Verify Credentials)] をクリックします。

Prime Infrastructure は、NAM デバイスに対してのみ、HTTP クレデンシャルの検証をサポートしています。

- e) [追加 (Add)] をクリックして、指定した設定でデバイスを追加します。

(注) ユーザ定義フィールド (UDF) パラメータが新しいデバイスに使用可能になるのは、最初に [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Settings)] > [インベントリ (Inventory)] > [ユーザ定義フィールド (User Defined Fields)] を選択して UDF パラメータを追加した場合のみです。UDF フィールドパラメータには、特殊文字 ; および # を使用しないでください。

ステップ 3 CSV ファイルを使用して別のソースからデバイスをインポートするには、次の手順を実行します。

- a) [ネットワーク デバイス (Network Devices)] テーブルの上にある **+** アイコンをクリックし、[一括インポート (Bulk Import)] を選択します。
- b) [一括デバイスインポート (Bulk Device Import)] ダイアログボックスで、デバイスをインポートする Prime Infrastructure サーバを選択します。
- c) [ファイルの選択 (Choose File)] をクリックして、一括インポートするデバイスの詳細を含む CSV ファイルを選択します。

CSV ファイルの作成の詳細については、を参照してください。 [デバイスのインポート CSV ファイルの作成](#)

- d) [インポート (Import)] をクリックします。

1つの Prime Infrastructure インスタンスから別の Prime Infrastructure インスタンスへのデバイスの移動

他の管理対象 Prime Infrastructure インスタンス間のロードバランシングのため、ある Prime Infrastructure インスタンスで管理されているデバイスを別の Prime Infrastructure インスタンスに移動することができます。

ステップ 1 [モニタ (Monitor)] > [管理対象要素 (Managed Elements)] > [Network Devices (ネットワーク デバイス)] を選択します。

ステップ 2 [ネットワーク デバイス (Network Devices)] テーブルで、デバイスを選択し、[デバイスの移動 (Move Device)] をクリックします。

ステップ 3 [デバイスの移動 (Moving Devices)] ダイアログボックスで、デバイスの移動先の Prime Infrastructure サーバを選択します。

ステップ 4 [送信元サーバからのデバイスの削除 (Remove device from source server)] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

[送信元サーバからのデバイスの削除 (Remove device from source server)] チェックボックスをオフにすると、デバイスは複数の Prime Infrastructure インスタンスで管理されますが、これは推奨されていません。

オペレーションセンターによるすべての Cisco Prime Infrastructure サーバの管理対象デバイスの表示

[モニタ (Monitor)] > [管理対象要素 (Managed Elements)] > [ネットワークデバイス (Network Devices)] の順に選択して、オペレーションセンターの [ネットワークデバイス (Network Devices)] ページを開きます。ここでは、Cisco Prime Infrastructure インスタンスが管理しているネットワークに属するすべてのデバイスの情報を表示できます。この情報には、デバイスのホスト名/IP アドレス、現在の到達可能性ステータス、およびインベントリ データがそのデバイスから正常に収集された最終時刻が含まれます。[デバイス360度 (Device 360°)] ビューを起動して、Telnet、Ping、および Traceroute アクションを実行することもできます。

最初に [ネットワークデバイス (Network Devices)] ページを開くと、すべてのネットワークデバイスが表示されます。表示されるデバイスを絞り込むには、次のいずれかの操作を実行します。

- [デバイスグループ (Device Group)] ペインから、該当するデバイス タイプ、ロケーション、またはユーザ定義グループを選択し、サブグループまでドリルダウンします。また、いずれかのロケーショングループを選択すると、[統合AP (Unified AP)] タブおよび [サードパーティ製AP (Third Party AP)] タブを表示することもできます。
- カスタム フィルタを適用するか、または [表示 (Show)] ドロップダウンリストから定義済みフィルタを1つ選択します。オペレーションセンターに備わっているカスタム フィルタを使用すると、管理対象インスタンス全体で重複するデバイスを表示できます。フィルタの使用方法の詳細については、関連項目「クイックフィルタ」を参照してください。

- 特定のデバイスを検索します。詳細については、関連項目「検索方法」を参照してください。
- 空のデバイス グループを非表示にするには、次の手順を実行します。
 - [管理 (Administration)] > [システム設定 (System Settings)] > [インベントリ (Inventory)] > [グループ化 (Grouping)] の順に選択します。
 - [メンバーがないグループを表示 (Display groups with no members)] チェックボックスをオフにします。
 - [保存 (Save)] をクリックします。

オペレーションセンターの [ネットワークデバイス (Network Devices)] ページからデバイスを削除すると、そのデバイスをモニタしているすべての管理対象 Cisco Prime Infrastructure インスタンスからもデバイスが削除されます。

関連トピック

[オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理 \(2 ページ\)](#)

[オペレーションセンターを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバを含む展開での仮想ドメインの使用 \(5 ページ\)](#)

[クイック フィルタ](#)

[検索方法](#)

オペレーションセンターを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバを含む展開での仮想ドメインの使用

「[ユーザアクセスの制御](#)」で説明しているように、この機能を使用すると、オペレーションセンターの管理者は管理対象 Cisco Prime Infrastructure インスタンスで仮想ドメインを定義することができます。[仮想ドメイン (Virtual Domains)] ページが変更されて、管理対象 Cisco Prime Infrastructure インスタンスで定義された各仮想ドメインをオペレーションセンター管理者が確認できるようになります。ドメインのリストが統合されて、オペレーションセンターに表示されます。

オペレーションセンターで管理されているすべての Cisco Prime Infrastructure インスタンスで使用できるすべての仮想ドメインをオペレーションセンターから表示できます。

また、オペレーションセンター自体から仮想ドメインを作成または編集することもできます。同じ仮想ドメインが複数の Cisco Prime Infrastructure インスタンスでアクティブな場合、オペレーションセンターには仮想ドメインが一度表示され、すべての管理対象 Cisco Prime Infrastructure インスタンス上で同じ名前を持つすべてのアクティブな仮想ドメインのデータがそこに集約されます。

インスタンスが存在する場合（または到達可能な状態にある場合）にのみ、仮想ドメインを作成できます。[仮想ドメイン (Virtual Domain)] には管理対象ネットワーク要素のみが表示されるため、[仮想ドメイン (Virtual Domains)] 内のネットワーク要素の数は、Cisco Prime Infrastructure に比べて限定的です。仮想ドメインにデバイス グループを割り当てたり、オペ

レーションセンターを使用して仮想ドメインを配布するインスタンスを選択することもできます。

オペレーションセンターの中から仮想ドメインを作成、編集、インポートおよびエクスポートする方法は、Cisco Prime Infrastructure の 1 つのインスタンスで仮想ドメインを作成、編集、インポートおよびエクスポートする方法と同じです。詳細については、「[Using Virtual Domains to Control Access](#)」を参照してください。

関連トピック

[オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理](#) (2 ページ)

[オペレーションセンターによるすべての Cisco Prime Infrastructure サーバの管理対象デバイスの表示](#) (4 ページ)

[オペレーションセンターとは](#)

[Cisco Prime Infrastructure への仮想ドメインの配布](#) (6 ページ)

Cisco Prime Infrastructure への仮想ドメインの配布

オペレーションセンターで、インスタンスに既存の仮想ドメインを配布するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 [管理 (Administration)] > [ユーザ (Users)] > [仮想ドメイン (Virtual Domains)] を選択します。

ステップ 2 [仮想ドメイン (Virtual Domains)] サイドバーメニューから、新しいインスタンスで作成する既存の仮想ドメインをクリックします。

ステップ 3 [管理対象サーバ (Managed Servers)] タブをクリックします。

ステップ 4 [追加 (Add)] をクリックし、仮想ドメインを配布する Prime Infrastructure 管理インスタンスを選択します。

ステップ 5 [OK] をクリックします。

ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。

詳細については、『[Cisco Prime Infrastructure Administrator Guide](#)』の「[User Permissions and Device Access](#)」の章を参照してください。

関連トピック

[オペレーションセンターの構成ダッシュボードを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバの管理](#) (2 ページ)

オペレーションセンター RBAC サポートの有効化

オペレーションセンターでのロールベースアクセスコントロール (RBAC) のサポートにより、複数の管理対象インスタンスからのデバイスコレクションを仮想ドメイン経由でユーザに関連付けることができます。この機能によって、[サーバのモニタリングと管理 (Monitor and

Manage server)] ページへのアクセス、管理対象インスタンスの追加、変更または削除、および特定のユーザへの特定のダッシュレットの入力を行うことができます。

オペレーションセンターで RBAC (ロールベースアクセスコントロール) を有効にするには、次の手順に従います。

ステップ 1 管理者として Prime Infrastructure にログインします。

ステップ 2 [管理 (Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザ、ロール、および AAA (Users, Roles & AAA)] > [ユーザグループ (User Groups)] を選択します。

ステップ 3 RBAC を提供する対象となるグループ名をクリックします。

ステップ 4 [タスク権限 (Task Permissions)] タブをクリックします。

ステップ 5 オペレーションセンター タスクで次のチェックボックスをオンにします。

- [サーバ ページへのアクセスのモニタリングと管理 (Monitor and Manage Servers Page Access)]。
- [サーバ ページの管理とモニタリングでの管理特権 (Administrative Privileges under Manage and Monitor Server Pages)]。

これらのオプションは、管理者およびスーパー ユーザではデフォルトで有効になっています。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

詳細については、『[Cisco Prime Infrastructure Administrator Guide](#)』の「User Access and Device Permissions」の章を参照してください。

関連トピック

[オペレーションセンターを使用した複数の Cisco Prime Infrastructure サーバを含む展開での仮想ドメインの使用 \(5 ページ\)](#)

オペレーションセンターを使用した Prime Infrastructure サーバ間のデバイス設定テンプレートの共有

オペレーションセンターは、ネットワーク内のデバイスを直接管理または設定しませんが、管理する Prime Infrastructure サーバインスタンスで保存された設定テンプレートにユーザがアクセスできるようにします。オペレーションセンターを使用して、次の操作を実行できます。

- Prime Infrastructure サーバのいずれかの設定テンプレートを表示できます。
- あるサーバに存在するテンプレートをオペレーションセンターが管理する他のサーバに配布できます。ネットワーク全体にテンプレートを展開する場合などは、このようにテンプレートを配布する必要があります。

これらの操作を実行する際の手順は、スタンドアロンの Prime Infrastructure サーバで同じ操作を実行する場合と一緒です。最初にオペレーションセンター インスタンスにログインする必要がありますが、次に作業するテンプレートの Prime Infrastructure サーバインスタンスを選択します。

